2022年度　マルエー環境報告

マルエー環境理念

私達マルエーは、地域に根差し地域と共に、環境行動に出来る限り取組み
持続可能な社会の実現に貢献して行きます。

マルエー環境数値

廃棄物発生量

18年	19年	20年	21年	22年
100	84	78	81	79

18年を100としての数値　　廃棄物を減らす行動を継続して行きます

廃棄物リサイクル量

18年	19年	20年	21年	22年
100	98	101	171	188

18年を100としての数値　　リサイクル量を増やして行きます

廃棄物リサイクル率

18年	19年	20年	21年	22年
27	31	34	56	62

%

リサイクル率を上げて行きます

店舗廃棄ロス率

18年	19年	20年	21年	22年
0.74	0.71	0.62	0.61	0.61

%

廃棄ロスを継続して減らして行きます

容器包装使用量

18年	19年	20年	21年	22年
100	100	118	113	115

18年を100としての数値　　トレー使用量を減らして行きます

店頭トレー回収量

18年	19年	20年	21年	22年
100	97	100	100	98

18年を100としての数値　　回収を推進して行きます

レジ袋有料化に伴うレジ袋持参率

18年	19年	20年	21年	22年
88.6	89.1	89.8	90.5	88.9

%

レジ袋持参を推奨して行きます

フードドライブ定期開催　　・・5月、10月の年2回の定期開催を継続して行きます

5月27日～28日　8店舗で実施

回収個数	1339	個	回収量	482	kg

10月14日～15日　10店舗で実施

回収個数	930	個	回収量	404	kg

＊多くの食品・日用品を持参頂き、ありがとうございました。

全て「いしかわフードバンクネット」様に寄贈させて頂きました。

エコマル野菜の導入　　・・地球に優しく美味しいエコマル野菜の販売を増やして行きます

エコマル野菜のとは、

地元市場から仕入れた魚をマルエーで加工した時に出る魚残さから出来た肥料を使って野菜を栽培、その野菜をエコマル野菜と名付けマルエーで販売

Ishikawa Ecodesign Award 2023

第13回
いしかわエコデザイン賞2023
サービス領域「金　賞」

マルエーリサイクルループ＝いしかわループ
地球に優しく美味しい地元野菜「エコマル野菜」の販売

株式会社マルエー（白山市）

●石川県内の市場から仕入れ、マルエー店舗から排出した魚の残渣を金沢水産衛生センターに送り、有機肥料にリサイクル。

●その肥料を地元農家さんに渡し野菜を作って頂き、その野菜を「エコマル野菜」としてマルエー店舗で販売するという、石川県内でエコなループを回す取組。

●このループにより、配送エネルギーを軽減、地産地消も実現。

＜審査委員コメント＞
地域密着型の量販店が魚の残渣を農業資源として地元農家で活用し、収穫した野菜を地域ユーザーに販売する、循環型の資源活用を実現させている点を高く評価。

エコマル野菜販売結果

	販売期間	販売数
エコマル野菜・アスパラ	4～5月	3000束
エコマル野菜・南瓜	8月	5000個

地球に優しいエコマル野菜を導入して行きます

Ishikawa Ecodesign Award 2023

エコマル野菜・マルエー

2023年度いしかわエコデザイン金賞受賞

もってきまっしの図書寄贈

・・もってきまっし収益金の１部で近隣施設（小学校・保育所等）に図書寄贈する事を継続して行きます

２０２２年度分　もってきまっし図書寄贈結果

２２年度分	施設数	98	施設
２２年度分	寄贈本数	1864	本
１２～２２年度分	累計本数	23736	本

累計本数は２０１２年以降の数値

マルエーエコステーション「もってきまっし」のご利用ありがとうございました。

今年も上記本数を寄贈させて頂きました。今後もこの取組を継続して行きます